



スーパー グローバル ハイスクール

佐高 SGH通信 2018

No. 26 (平成 30 年 11 月 7 日発行)

佐高 SGH クラブ

世界子どもの日ユースフェスティバル参加

2018年11月17日(土)、聖心女子大学において「世界子どもの日ユースフェスティバル～わたしたちのファーストステップ～」が開催されました。そこで、「SDGsのために高校生ができること」というテーマのもとにSGH校各校の発表があり、本校SGHクラブの国外班と国内班が発表を行いました。

～世界子どもの日とは～

11月20日は国連が定めた「世界子どもの日」です。世界の子どもたちの人権を守るための「子どもの権利条約」が国連で採択された日です。それでも現状は世界でも日本でも多くの子どもたちが大切にされず、悲しい思いをしています。そんな状況を変える力を持つのは、未来の世界を支えるユースです。このイベントは高校生や大学生等のユースが交流を経て、子どもたちの未来を考えるきっかけとなる目的で行われています。

～SDGsとは～

持続可能な開発目標 (SDGs) とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標 (MDGs) の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない (leave no one behind) ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル (普遍的) なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

※外務省HPより

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/about/index.html>

～参加校とタイトル～

- ・ 渋谷教育学園渋谷高等学校：「子ども食堂～子どもたちに楽しい食事を～」
- ・ 順天高等学校：「フィリピンフィールドワークを通して～薬物問題の現状～」
- ・ 筑波大学附属坂戸高等学校：「国際フィールドワーク2018@インドネシア報告」
- ・ 法政大学国際高等学校：「LGBTの人々のために私たちが出来ること」
- ・ 名城大学附属高等学校：「名城で考えるSDGs～高校生の私たちが出来ること～」
- ・ 佐野高等学校：「佐呂間の歩みとこれからの社会」「足尾と福島～田中正造に学ぶ～」(国内班)
「台湾、茂木から考える里山地域の活性化」(国外班)



国内班 (1年)



国内班 (2年)



国外班



高校生同士の積極的な質疑応答

～国内班の発表内容～

◎1年班:秋野 恵理(1-1)、茂木 千紘(1-4)

《佐呂間町の歩みとこれからの社会》

足尾銅山鉱毒事件の影響を受け、遊水池を作るため当時の栃木市から強制的に北海道佐呂間へ移住。

※当時の佐呂間はとても寒く、全く開墾されていない荒れ果てた土地。



佐呂間移住の方々の努力により、酪農へ転換した結果、生活が安定し始める。



後世のことも考えた自然と共生して生きていく持続可能な社会への取り組みが大切である。

◎2年班:新井 康平(2-2)、須藤 悠希(2-2)、高橋 くるみ(2-2)、大嶋 佑佳(2-3)、安生 温大(2-4)

《足尾と福島～田中正造に学ぶ～》

足尾鉱毒事件と福島原発事故には以下のように類似点が多い。

- ・被害が半永久的である
- ・どちらも国にとって重要な産業である
- ・被害の根源を絶たずに対処しようとした

田中正造の目指した真の文明実現が今もできているとは言いがたい・・・



私たちが学んだこと、研究したことを伝える活動をしていこう!

～国外班の発表内容～

◎松澤 あさひ(2-4)、大芦 さくら(2-1) 新井 里梨(2-3)

《台湾、茂木から考える里山地域の活性化》

台湾埔里鎮桃米里・栃木県茂木町・・・自然を活かした活性化を行う先進地域という共通性があるが、台湾埔里鎮桃米里の方が人口減少率が低く、観光客数が多い。

桃米活性化のプロセス・・・

- ①徹底的な桃米の生態調査
- ②大学や専門家との連携
- ③桃米住民の意識を変える



外部組織との深い連携による知識経済の確立が必要である!

住民の意識改革と自主性に基づいた観光資源の運営が必要である!

今回の発表の詳細については、12月13日(木)に本校で行われるSGH成果発表会で改めて発表されます。ぜひ御来場ください。